



市は、能力がありながら経済的な理由で修学が困難な学生や生徒に対して、ひとしく教育を受ける機会を確保するため奨学金を交付しています。

千歳市 奨学金制度

● 対象

- 本人または親権者の住所が市内にあり（住民基本台帳に登録されている）、次のすべてにあてはまる方が対象になります。
- 大学、高等専門学校、高等学校または専修学校（修業年限が2年以上の専門課程および修業年限が3年以上の高等課程に限る）に在学すること。
- 学資に乏しいこと。
- 学業が優良で性行（普段のおこない）が善良であること。

● 奨学金の金額と募集人数

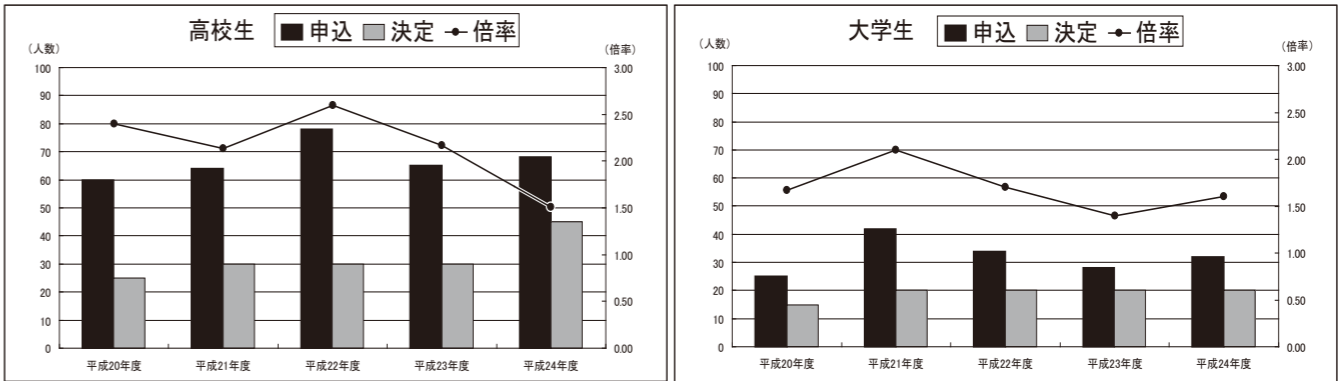
対象	金額	予定人数
高等専門学校生（1年生から3年生）	月額 7,000 円以内	45 人
高校生		
専修学校生（修業年限が3年以上の高等課程）		
大学生（短期大学含む）	月額 10,000 円以内	20 人
高等専門学校生（4年生、5年生及び専攻科）		
専修学校生（修業年限が2年以上の専門課程）		

● 募集・選考方法

- 募集期間は、3月1日～4月10日です（詳細は、広報ちとせ2月号でお知らせします）。
- 期間中に申し込みがあった方の中から、その年度の奨学生を選考します。
- 奨学生は、優秀な学生や生徒であって、経済的な理由のため進学のために恵まれない方、修学が困難な方について、学業、性行、身体および家計の状況をもとに奨学生選考委員会で審査し、教育委員会が決定します。
- 奨学金は、その年度の6月から年4回に分けて交付します（将来、返還する必要はありません）。

● 奨学生の申込状況

経済の低迷などを反映して、奨学金を希望する生徒や学生は増加傾向にあります。高校生と大学生の過去5年間の申込状況などは、下記グラフのとおりです。



※平成21年度と平成24年度に交付人数を拡大しています。

財源 寄附金の募集



奨学金は、奨学金制度にご理解とご支援をいただく市民や企業の皆さんの寄附金を積み立てた「奨学基金」とその「利子」を財源にしています。

● 奨学基金の現状

- 平成24年度の奨学金の交付金額は、高校生の部で年間378万円、大学生の部で年間240万円、合計で約618万円になります。
- 平成24年4月時点の基金残高は、約6,160万円です。
- 1年間の交付金が約618万円ですので、皆さんの寄附がなければ、約10年間で基金残高が底をついてしまうことになり、将来、奨学金の財源を十分に確保できなくなる恐れがあります。
- 奨学基金の預金利子が見込めない現在、皆さんの善意ある寄附金によって奨学金制度が支えられています。

● 寄附金の状況

これまでに、たくさんの方々から千歳市奨学基金に寄附をいただきました。過去5年間に寄附をいただいた状況は、表のとおりです。

年度	件数	寄附の額	備考
平成20年度	12件	2,030,000円	
平成21年度	27件	2,012,500円	
平成22年度	76件	8,227,650円	
平成23年度	48件	5,870,091円	
平成24年度	34件	5,074,739円	(12月現在)

※寄附をいただいた方の氏名（個人名、会社名、団体名等）を、市のホームページで紹介しております。

● 奨学生からの感謝のことば（抜粋）

- 皆さまの善意の寄附のおかげで高校に行くことができ、毎日勉強することができました。寄附をしてくださった皆さま、本当にありがとうございました。
- 一度は進学をあきらめた方がいいのだろうかと思ったこともありましたが、今こうやって進学を決めることができたことに家族や奨学金、学校に感謝しています。
- 奨学金は経済面ではもちろん精神的にも「もっと頑張ろう」と思えるようになり、心の支えになりました。
- 奨学金のおかげで勉学に集中することができ大変ありがたく思っています。目の前にある機会を無駄にせず様々な物事に挑戦しています。
- この一年間、奨学生の名に恥じぬよう学業に学校生活に全力を尽くしてきました。私を支えてくださった皆さまへのご恩と感謝を忘れず、より一層精進していきたいと思えます。

● 寄附金の募集

皆さんの善意によって支えられている、奨学金制度を安定的に運用するため、向学心のある若者の一助として、趣旨にご賛同いただきたくお願い申し上げます。皆さんの真心は、千歳の未来を築く子どもたちのために、大切にさせていただきます。

お問い合わせは、教育委員会 企画総務課総務係 ☎(24) 0819